

千年前も薨（いらか）の波と雲の波

熊本市
遺跡発掘速報展
2023

▲陳山廃寺出土の瓦

観覧料 熊本博物館常設展示入場料のみでご覧いただけます。

一般:400 円 (320 円) / 高・大生:300 円 (240 円) / 小・中学生:200 円 (160 円)

※() 内は 30 名以上の団体料金。

※未就学児、熊本市内の学校に通学する小中学生は無料（名札、生徒手帳、くまはくミュージアムバスいずれかを所持する方。）また、障がい者手帳または 65 歳以上の熊本市民で証明書をお持ちの方の入場は無料です。

2024 年

2/3^土 ~ 5/12^日

熊本博物館 2 階 特別展示室 3

熊本市中央区古京町 3-2

主催 熊本市文化財課・熊本博物館

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）年末年始 12/29 ~ 1/3
開館時間：9：00 ~ 17：00（入場は 16：30 まで）

熊本市文化財課 Tel 096-328-2740 Fax 096-324-4002



熊本市遺跡発掘速報展 2023 を開催いたします。

今回の展示では 2022 ～ 2023 年の発掘調査成果や出土品の整理での発見を公開します。弥生時代や奈良時代・平安時代、鎌倉時代など、様々な時代の出土品が並びます。

◀瓦の出土状況【陳山廃寺（じんやまはいじ）】

この遺跡は、8世紀頃に聖武天皇が全国の国ごとに建立した「国分尼寺」と推定されています。今回の調査は、お寺の建物が推定されている範囲の南側にあたり、屋根に葺かれていた瓦が大量に出土しました。軒先を飾った蓮華文の軒丸瓦や唐草文の軒平瓦といった華やかな瓦のほか、平瓦、丸瓦、熨斗瓦（のしがわら）など屋根を構成するいろいろな瓦が出土し、当時の様相を伝えてくれます。



甕棺の出土状況【宮地遺跡群（みやじいせきぐん）】▶

城南町宮地にある遺跡で、弥生時代中期から後期（約 2000 年～ 1900 年前）にかけて大規模な濠に囲まれた環濠集落（かんごうしゅうらく）が見つかっている遺跡です。青銅で造られた鏡や巴形銅器（ともえがたどうき）、鍬（やじり）などの珍しいものが出土しています。地域の有力な人物が住んでいたのでしょうか。



熊本博物館蔵出し

◀中世須恵器片【樺番城窯跡（かばばんじょうかまあと）】

樺番城窯跡は、熊本県荒尾市大字樺字下横内・番城にある鎌倉時代に須恵器を生産した窯跡です。窯跡からは多くの破片が出土しており、古くから熊本博物館に寄託され、地方窯として全国的にも有名な中世の窯跡資料です。貴重な資料であることから、このたび整理し、破片からみえてくることをご紹介します。

ギャラリートークのご案内

2024 年 2/4（日）・4/21（日）・5/5（日） 10:00 ～ ※1 時間程度
専門職員が展示について解説します。

交通アクセス

- ・バスで「桜町バスターミナル」または「市役所前」下車、徒歩約 15 分
- ・熊本城周遊バス（しろめぐりん）で「博物館・旧細川刑部邸前」下車
- ・熊本市電「杉塘」下車、徒歩約 5 分
- ・専用駐車場はありません。周辺駐車場は混雑が予想されるため、公共交通機関をご利用ください。

